

「越境 E C 貿易サービス」

商品を販売する企業では無く、越境 E C 貿易の上流から下流まで、
全ての実務を経験しているメンバー達が提供する支援サービスです。

日本の企業（特に中小企業）を支援する ビジネスマッチング支援の御案内

「越境 E C 貿易サービス」

2023年 3月23日

日本製品販売支援会（大連）

1. 日本製品販売支援会の「越境EC貿易サービス」の概要

日本側の事情

中国で商品を宣伝し、販売したい

中小企業なので、資金も少なく、経験もない

売れるかどうか不安で、資金回収にも不安がある

越境EC貿易は良さそうだが、どうすれば良いのか

その他

- ・ 心配な事が多く、気軽に相談できる所も無い
- ・ 中国は変化が早く、最新の状況も不明

中国側の事情

中小企業なので、日本企業との取引経験が無い

日本の商品をテスト販売したいが、商品も無く、どうすれば可能なのか

日本の商品販売は価格競争になっており、「新しい商品」や「知られていない商品」を宣伝して販売したいが、どのような商品が有るのか知らない

その他（日本商品のサンプルを見たいが無い）

目的： ・ お客様の立場に立って相談に乗り、一緒に問題解決する支援サービスを提供
・ 短期に商品を大量販売をするインフルエンサーやファンのためではなく、商品を製造している会社やその地域の歴史や文化も紹介し「真のファン」を増やす。（インバウンドとアウトバウンドの融合）

日本の企業（特に中小企業）を支援する事で、日本と中国の双方に満足してもらい、結果として皆様の発展に貢献する支援サービス。

●初めての日本企業でもチャレンジし易い方法を試行錯誤し、
「痒い所に手が届くサービス」を実施。（日本国内取引と同じ体制）

中国市場に商品を販売したい日本企業

- ・ 日本国内の指定港に商品を送るだけ（日本国内取引と同じ）
- ・ 費用は日本国内の銀行を使用する日本円での国内送金（日本国内取引と同じ）

中国市場に商品を販売したい日本企業の紹介企業・仲介企業

日本窓口企業（TotalLife国際（株））

（日本の指定港から大連の越境EC貿易倉庫までの輸送全般や、費用の送金などを担当）

「越境EC貿易サービス」

大連の越境EC倉庫で商品を保管し、商品の宣伝や紹介、商品の管理、商品のテスト販売、
販売企業とのマッチングなど全般を実施

インフルエンサー

ネット販売
企業

実店舗
販売企業

ライブ配信
企業

WeChat上の
店舗企業

代理販売
企業

その他

中国国内の消費者

「越境 E C 貿易サービス」

- ・ 基本としては「委託販売方式」（商品により「買取」もあり）
- ・ 日本の国内取引と同じ方式（支援会の日本側窓口企業と契約）



無 償

商品が中国側で正式輸入できるかどうかの調査

類似商品の中国市場での販売状況調査

最新の越境 E C 貿易制度に関する紹介

質問や困ったことに関する何でも相談

その他

- ・ 商標登録などに関する代理手続き相談
- ・ 中国で好まれる商品デザインなどの相談
- ・ 中国向けの宣伝資料などに関する相談

有 料

「委託販売契約書」の正式締結以降

契約金は 1 種類（数は制限無し）5 万円で、期間は基本的に 1 年間となり、この 5 万円に含まれる項目は以下。

- ・ 日本の指定港から中国の越境 E C 倉庫に入るまでの全ての費用
- ・ 商品宣伝用の日本語資料に関する中国語翻訳
- ・ 中国側の販売企業に対する商品紹介と、ビジネスマッチング
- ・ 商品を中国語で紹介し、ネットで販売するための専用 QR コード作成

2. 日本製品販売支援会の「越境EC貿易サービス」の流れ概要

日本側（お客様）

中国側（支援会）

本サービスを検討（資料参照の他、ネット会議なども活用）

本サービスを紹介（関係資料の送信や、ネット会議などでの紹介）

「検討依頼書」に商品情報を記入（沢山の商品情報）

「検討依頼書」（様式）をメールで送信

「検討依頼書」に追記された中国側の情報（日本語）を参照し、
本サービスを利用するか？商品は何にするか？
などを検討し、利用するかどうかの結果をメールで連絡

「検討依頼書」に記載の商品情報を中国語に翻訳し、
中国側としての輸入可否調査や、市場の状況を調査

「委託契約書」に必要事項を記入してメールで送信

「委託契約書」をメールで送信

「委託契約書」に署名捺印してメールで送信（契約成立）

「委託契約書」に署名捺印してメールで送信

- ・ 指定された場所に、指定された期日に、商品を送る
- ・ 原産地証明書など資料が必要な商品に関しては、
早急に取得し、原紙を郵便で送る
（原紙のPDFは、郵送前にメールで送信しておく）
- ・ 商品を宣伝するための情報（日本語でも良い）を
メールなどで送信する
（類似商品との差別化項目や特徴など）
（文章、写真、動画など）

契約した商品を送る日本国内の場所（港）を連絡

商品を日本から中国へ送り、越境EC貿易の倉庫で保管する
なお、各種の証明書が揃って無い場合や、「委託契約書」に
記載されている内容と異なる場合などは、日本側へ連絡する

無料

有料

日本側（お客様）

中国側（支援会）



商品を宣伝するための情報を中国語に翻訳

- ・ 専用サイトに商品をアップする
- ・ 連携する中国の販売企業に連絡する
- ・ 越境EC倉庫内で、中国の販売企業に商品を紹介する
- ・ 連携する実店舗にQRコードを貼りつけた商品サンプルを展示する
- ・ インフルエンサーによる生放送の宣伝販売を実施する（費用に関しては別途相談）
- ・ 良い展示会などがあれば出展（費用に関しては別途相談）



毎月月末締めで、中国の販売企業とのマッチング状況や、販売状況を集計し、「販売状況報告書」をメールで送信

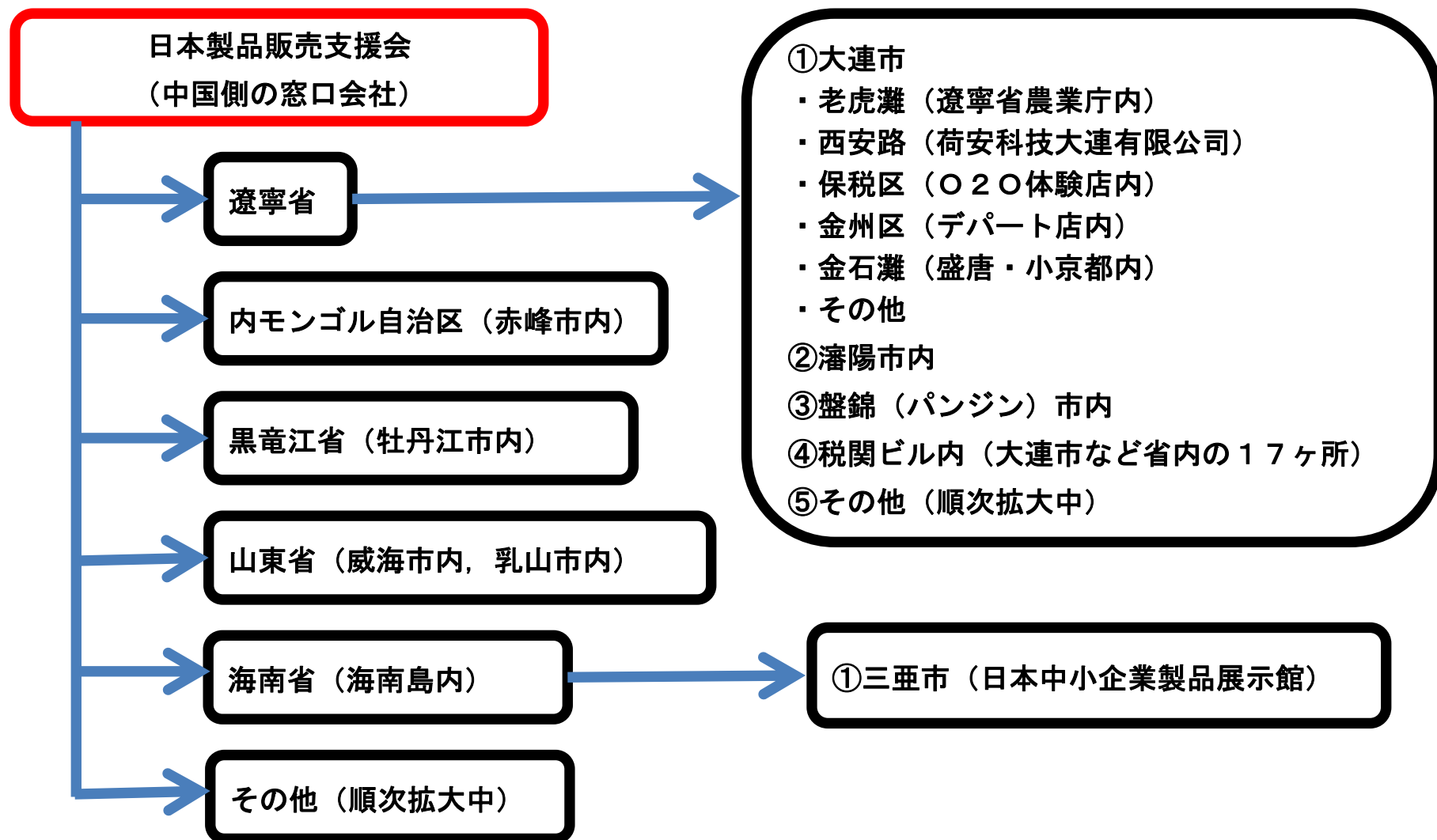
- ・ 「販売状況報告書」を参照し、販売した商品の費用送に関する相談をする（まとまってから送金するか？など）
- ・ 送金する場合は、「請求書」を作成してメールで送信（日本国内の銀行間送金で、日本円で振り込まれる）

「請求書」にもとづき、記載の銀行口座へ日本円で振り込み

●委託契約期間が満了した時の在庫商品取り扱いや、賞味期限が近くなった時の商品取り扱いなどに関しては、「委託契約書」などを良く読んでいただき、他にも不明な点が有る場合は、中国側（支援会）の日本窓口まで遠慮なく連絡ください。（メールだけではなく、ネット会議や電話対応も行っています。）

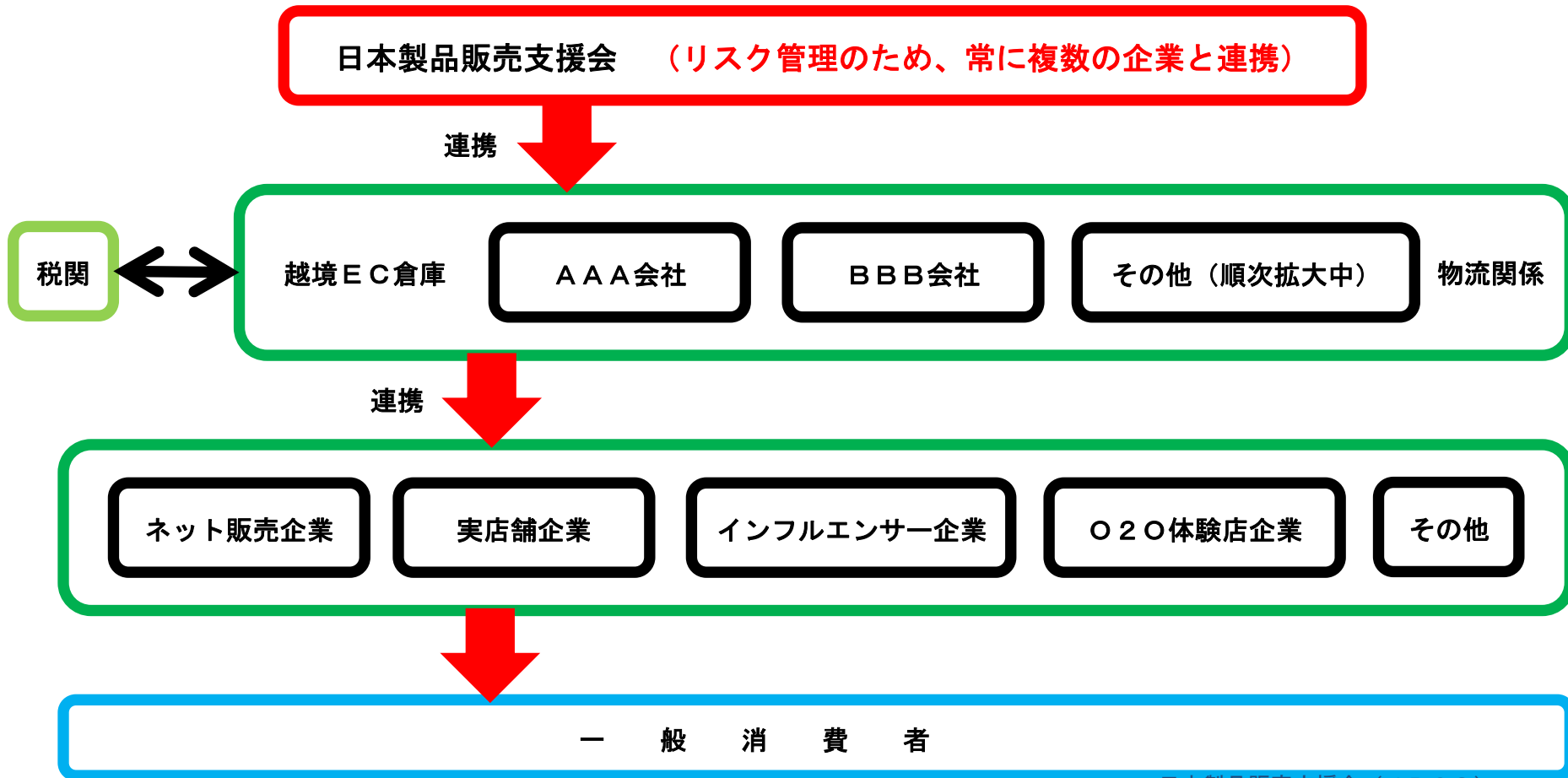
3. 日本製品販売支援会の「越境EC貿易サービス」の連携地域概要

1. 実店舗が有る、越境ECのネット販売企業との連携（順次拡大中）
2. 実店舗は無い、越境ECのネット販売企業との連携（順次拡大中）
3. その他の連携（インフルエンサーによる販売連携やO2O体験店による販売連携など）



4. 日本製品販売支援会の「越境EC貿易サービス」の連携体制図概要

- 「越境EC貿易サービス」は、日本の商品製造販売企業と、中国の販売企業をマッチングさせることが目的のサービスで、商品を製造している「会社」や「その地域」のファンを増やす事も目的としています。
- 「自前サイト」や「連携している複数のサイト」で、中国国内販売企業への商品宣伝やマッチングと共に、直接一般消費者への商品宣伝広告や販売を実施しています。（インフルエンサーを活用した商品宣伝販売も実施。）
- 中国国内で「認知度が低い商品、新しい商品、飲食商品」などは、特に実店舗にサンプル商品を展示し、商品を確認してから、その場で簡単に注文できる方法を採用しているため、連携する実店舗も拡大中です。（商品を体験してから注文）



5. 日本製品販売支援会の「宣伝・テスト販売方法」の概要

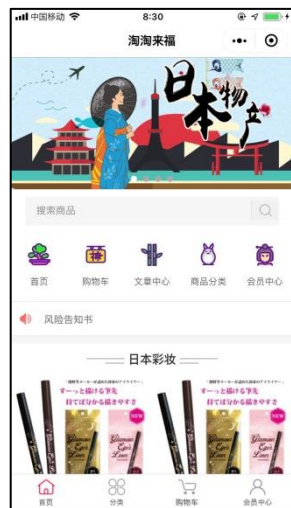
(1) 「自前のサイト」を利用する方法

(専用新サイトで「越境EC貿易サービス」の全商品を中国語で紹介したり動画を表示する事で、販売したい中国企業に商品を宣伝し、サンプル商品が必要な企業には卸価格で購入してもらい、テスト販売をしてもらう方法。(市場調査を兼ねて、一般消費者も購入できる。)

携帯電話からQRコードを
読み込んで専用新サイトに入る



「越境EC貿易サービス」の
商品情報表示や、日本の
観光紹介を表示(動画も活用)



商品を選択すると、
商品の宣伝内容(中国語)が
表示され、購入もできる



表示した商品を購入する場合は、
画面の下部にある注文を選択



「越境EC」倉庫から
注文した商品が配送される



「越境EC」で商品購入に
必要な情報などを入力し、
購入費用も電子決済する



（２）「自前の越境ＥＣ体験店」を利用する方法

- （１）「越境ＥＣ貿易」はネット販売に限定されているので、新しい商品や認知度の低い商品を宣伝するためには、実際の商品を展示し、来店者が手に取って確認でき、試飲や試食などが出来、定員による商品の説明も行っているので、販売したい企業とのマッチング場所としても最適。
- （２）販売したい企業が、気に入った商品を自社の越境ＥＣ貿易として販売したい場合は、その場で卸価格などの相談をし、サンプルが必要な場合は、商品に塗付して有るＱＲコードを読み込む事で、商品の注文もできる。
- （３）一般消費者も、気に入った商品が有れば、商品に塗付して有るＱＲコードを読み込む事で、商品の購入（注文）もできる。（商品は越境ＥＣ倉庫から配送される。）

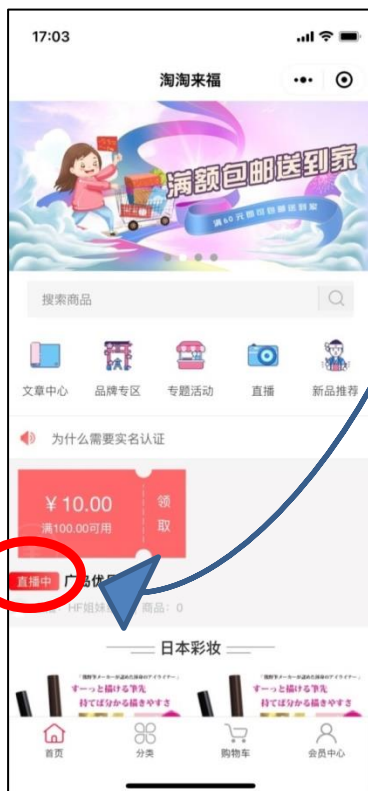
●体験店のスペースを拡大するため、現在は移転の準備中。（４月中旬頃にオープン予定）



(3) 「自前のインフルエンサー」を利用する方法

(インフルエンサーによる商品のライブコマースを実施する事で、商品の特徴や良さを中国語で紹介し、その場で質疑応答(チャット)も行い、購入したい場合は、そのまま商品(越境EC)の注文や支払いができる方法)

ライブコマースの開始時間が近づくと、ここに文字が表示されるので、ここを選択すると、見られます。
(放送中は「直播中」の文字)



インフルエンサーによる商品の生放送宣伝販売が表示され、質疑応答のチャットもでき、気に入れば、その場で注文



「越境EC」倉庫から注文した商品が配送される



必要な情報などを入力し、購入費用も電子決済する



6. 連携する企業の紹介（実例の一部）

（１）中国銀行のＡＰＰ（中国銀行の携帯電話用アプリ）

中国の人達で中国銀行に口座を持っている人達は、電気や水道の支払いなど携帯電話のＡＰＰ（アプリ）を利用しています。（ＶＩＰ会員だけでも約２７０万人が居ます。）

この中国銀行のＡＰＰの中に、「越境ＥＣ商品販売」のコーナーができ、越境ＥＣの説明、越境ＥＣ商品の販売、越境ＥＣ商品の製造会社紹介、製造企業の有る地域の紹介などを実施中。

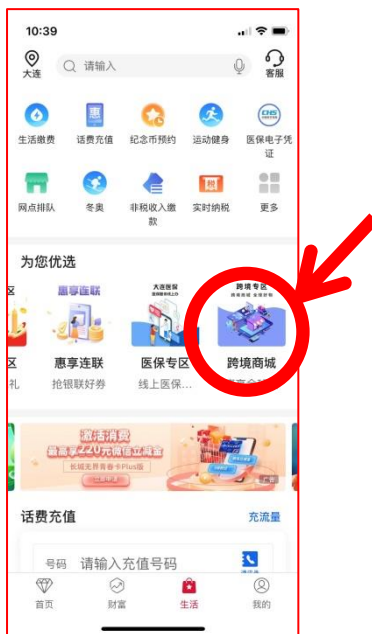
（日本の越境ＥＣ商品は、我々の支援会が提供しています。）

- ・越境ＥＣ商品の製造企業や、製造企業が有る地域（都道府県）も紹介する事で、真のファンを作る。（インバウンドの紹介・誘致にもつなげる。）
- ・期日や商品を限定した特価で販売で、商品を体験してもらうイベントを実施中。
- ・中国銀行のロビーで、専用の展示会を開始し、商品の体験イベントを実施中。

中国銀行の
ＡＰＰ（アプリ）



越境ＥＣ販売の
入口



越境ＥＣ販売の
メイン画面



- 商品體驗が目的の特価商品（1元）

越境ECの説明

越境EC商品の製造企業が有る地域の紹介

越境EC商品の製造企業紹介

越境EC商品の宣伝・販売

-
- A large group of people, many in white uniforms, are gathered in a modern building lobby. Some are standing in lines, while others are interacting. A red banner is visible in the background.

(2) 「インフルエンサー企業」によるライブコマース

中国のインフルエンサーによるライブコマース販売では、プラットフォームとして

「抖音，快手，淘宝」などが有りますが、人気があるのは「抖音，快手」となります。

「快手」のプラットフォームを利用してライブコマースを行うためには、この中で「旗艦店」を開設する必要があり、この「旗艦店」を開設し、3月1日からライブコマースを開始した企業と提携し、商品や商品の宣伝情報を提供しています。

(我々の支援会の関係者が運用を開始しました。)

- ・ 旗艦店の中に気に入った商品があれば、だれでもライブコマースが行えるので、自社のインフルエンサーだけではなく、中国全土のインフルエンサーが販売してくれる方法。



(3) 大連市金石灘にある「金石万巷」(旧名：盛唐・小京都)の 商店街内に有る実店舗

- ・大連市の観光地である金石灘で、日本式の一戸建て住宅を建築して販売している場所で、この中の商店街に実店舗を出店して日本の京都府関係の商品(お土産類, 陶器類, その他)を販売している「洛中洛外」という名前の店舗で、空きスペースに京都以外の商品も展示し、来客者に対して商品を宣伝して越境EC販売を行っている店舗。

(気に入った商品のQRコードを読み込んで注文し、商品は指定場所へ郵送。)

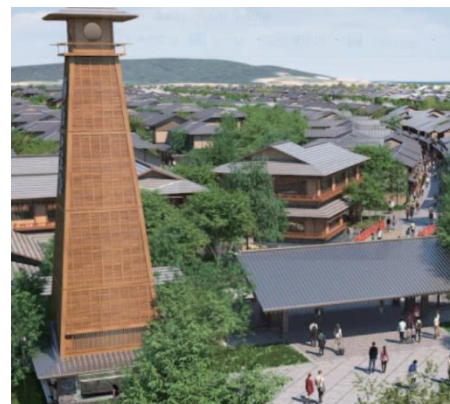
外 観



店舗内の1階
(京都府内の商品を販売)



金石万巷の雰囲気



店舗内の2階
(越境ECの日本商品を販売)



金石万巷の商店街入口の雰囲気



（４）大連市の保税区にある「越境ＥＣ貿易倉庫」の会社

中国が「越境ＥＣ貿易」を開始した当初から「越境ＥＣ貿易」を担当しており、大連市で越境ＥＣ貿易倉庫を運営すると共に、瀋陽市でも越境ＥＣ倉庫を運営し、冷凍が必要な商品に関しても対応できる体制を整備中。

また、この倉庫を利用している販売企業も多いため、倉庫の入口に商品を展示し、販売企業がサンプルを手にとって確認出来るマッチング場所にもなっている。

（この場所からライブコマースも実施中。）

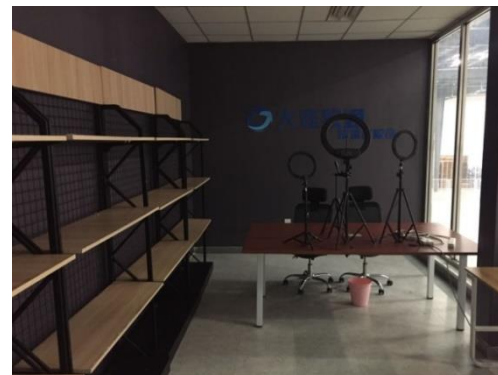
外 観



生放送宣伝販売の実例



生放送宣伝販売の部屋



倉庫内（発送用の梱包も）



倉庫内の商品陳列棚（販売企業との商談に利用するため拡張中）



(5) 大連市の老虎灘の水族館の向いに有る「遼寧省農業庁」ビルの1階の実店舗 (遼寧省内の農水産物商品を展示販売している店舗)

毎年数百万人の中国国内観光客が訪れる水族館や海の遊び場があり、その駐車場の向いに有る「遼寧省農業庁ビル」の1階には、地元（遼寧省内）の農水産物を展示販売しており、この場所の一角には輸入商品を販売するコーナーがあり、この場所で商品の宣伝販売を実施中。

●本来の目的は、地元（遼寧省）の農水産物を販売してくれる外国企業と、商品を中国で販売したい外国企業とのマッチングや、農水産品に関する技術などの交流をする場所。

外 観



遼寧省内の農水産物商品を
展示販売しているコーナー



海外へ輸出している遼寧省内の
農水産物商品展示コーナー



海外からの輸入商品を
展示販売しているコーナー
(面積を拡大予定)



生放送宣伝販売の部屋



遼寧省内の農水産物商品として販売している商品例

・油で揚げただけの簡単なエビ煎餅（左下は3袋で5元）



(6) 健康関係の商品に特化した企業

- ・世界中の健康食品（サプリなど）を中国に輸入し、中国国内でこの分野の取り扱いが一番になることを目的とした会社。
- ・総経理（社長）は、大連で最初に「O2O体験店」を開設した人で、「越境EC貿易」の第一人者であり、現在は「タオバオ」の物流会社が東北三省で唯一開設した倉庫の責任者を担当。（この関係もあり、中国の大手販売企業との繋がりが強い）
- ・中国市場の状況にも精通しており、どうすれば商品の販売が拡大するかなどにも精通。（私自身、越境EC貿易のイロハから教えてもらった人。）

価格が高い商品は、商品の効果が重要ですが、商品の梱包や見栄えも大切なため、日本の製造メーカーと連携し、当初の袋入りからボトル入りに変更し、外箱や手提げなども追加してた事例。

（中国では特に見栄えも必要）



7. 連絡先・問合せ先

- 中国の法律は変更になる頻度が高いので、最新情報の確認など、お気軽にご相談ください。
(参考サイト：<http://www.jpccs-dl.com/>)
- 本サービスが益々良くなるよう、日々改善・改良すると共に、連携する企業も順次拡大しているため、本資料の内容も順次改定していきますので、最新状況に関しては、以下にご確認ください。

日本との連絡窓口

氏 名 : 「白石 久充」(日本製品販売支援会「会長」)(現職: 大連毅信軟件有限公司「総経理」)
携 帯 : (+86) 13904110159 (日本語)
メール : shiraishi@e-trust.com.cn (日本語)

中国との連絡窓口

氏 名 : 「孫 吉斌」(日本製品販売支援会「副会長」)(現職: 大連利衆日通国際貿易有限公司「総経理」)
携 帯 : (+86) 15998540888 (中国語)
メール : sunji_bin@163.com (中国語)

- 日本側の商品混載便取りまとめや、費用の送金などを行うための日本側窓口会社となる
「T o t a l L i f e 国際(株)」の責任者も兼ねる

日本と中国の連絡窓口補佐

氏 名 : 「王 賽男」(日本製品販売支援会「翻訳通訳担当」)(現職: 大連毅信軟件有限公司)
携 帯 : (+86) 15724589331 (日本語と中国語)
メール : wang.sainan@e-trust.com.cn (日本語と中国語)